

町内各地で田植え体験!!

6月21日、御船小学校（中野浩幸校長・348人）の5年生が田植えを行いました。今年も里山敏治さんの水田でJAかみましき青壮年御船支部（米田真伍支部長）の指導を受けながら、田植えを行いました。米田支部長は、「お米がどうやって作られるか、そして日ごろ食べるお米が作られるまでの大変さも知ってほしい」と話しました。

24日は、滝尾小学校（河地浩太郎校長・57人）の5年生が田植えを体験しました。今年も村上新次さん（滝尾）の水田で指導を受けながら田植えをしました。村上さんは、「当たり前で食べているお米がこんなに苦労して作られているんだということを知ってもらい、お米をたくさん食べてもらいたい」と話しました。

同日、若葉保育園（津田庸子園長・136人）が福島則義さん（木倉）の水田で田植え体験をしました。園児たちは、泥んこになりながらも福島さんに教わりながら、楽しく田植えをしました。福島さんは「泥だらけになりながらも、田植えを体験することが大事。子どもたちには、たくさんのお米を経験して大きくなってほしい」と笑顔で話しました。



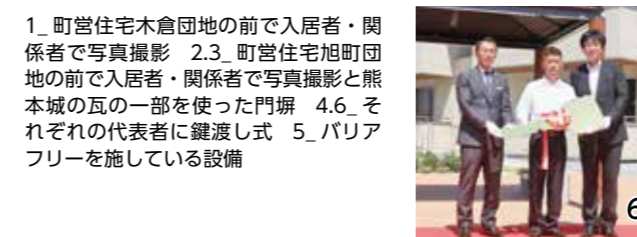
1.2_ 田植えを体験した滝尾小の児童たちと指導者の村上さん 3.4_ 楽しく田植えをする若葉保育園の園児たち 5_ 福島さんから田植えの指導 6.8_ 「田植えって楽しいー!」（御船小児童たち） 7_ 米田さんから徹底指導



きれいになった水道施設

町管工事組合がボランティアで草刈り

6月24日、町の水道施設（5カ所）の草刈りを御船町管工事組合（丸山稔理事長）がボランティアで行いました。管工事組合とは、町内水道設備業者によって構成されている団体。漏水による修理や緊急時の対応などで御船町の安全な水の供給に協力されています。この草刈りは、平成19年から行われている活動で、今回で11年目。丸山理事長は、「水道設備に雑草などが生えていると、いざというときに動きにくく、管理しにくい可能性がある。今後も草刈りを通して町と連携して水道施設を管理していけたら」と話しました。



ミュージックセラピーでの出田学長(左)と村橋准教授(右)

お父さんいつもありがとう

6月14日、「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンで、豊秋酪農組合女性部の2人が町を訪問し、野中副町長へ牛乳を贈呈しました。同キャンペーンは、牛乳が「ちち」と呼ばれることから、父の日のプレゼントとして、平成13年から実施されており、同組合による牛乳の消費拡大運動の一環としても行われています。女性部たちは「“お父さんいつもありがとう”と願いを込めています。美味しい牛乳をたくさん飲んでほしい」と笑顔で話しました。

御船町営住宅木倉団地・旭町団地 鍵渡し式

6月11日、災害公営住宅となる町営住宅木倉団地（木倉）の入居者への鍵渡し式が行われました。木倉団地の門扉には、御船高校書道部が復興への願いを込めて書いた団地の名前が入った名板を設置しています。

12日には、町営住宅旭町団地（滝川）の入居者への鍵渡し式が行われました。門扉の一部には、熊本城の瓦の一部を埋め込むことで、震災を風化させない、復興への思いが込められています。入居者たちは、復興への新しいスタートを切りました。



平成音楽大学2019教員コンサート

6月14日・19日、学校法人御船学園・平成音楽大学（出田敬三学長）で教員によるコンサートが開催され、学生や地域の人たちなど2夜で約400人以上が鑑賞しました。出田学長は「音楽は楽しく、美しく。今夜は聴いてもらい、何かを感じてもらえれば」とあいさつ。コンサートでは、童謡からポップス・クラシックの演奏などが行われ、その中でも出田学長と村橋和子准教授によるミュージックセラピー（音楽療法）では、観客も一緒に歌い、会場を盛大に盛り上げました。



野中副町長へ贈呈する坂本美由紀さん(左)、赤星桃子さん(右)